

**特集 1 2013年度 第40回全国頸損総会 神奈川大会報告**

～ 横浜の風を感じよう！ ～

事務局

6月8日(土)、9日(日)、第40回全国頸髄損傷者連絡会総会「神奈川大会」が開催され、全国から50名余りの頸損者が横浜市に参集、介助者、ボランティア等を合わせると約130名の盛会であった。

本年度は、1日目に記念講演、年次総会の会場を横浜駅前の“かながわ県民センター”、夜の交流会を崎陽軒本店にて開催、2日目は希望者が4コースに分かれて横浜市内、湘南、鎌倉方面の「神奈川県内の観光地バリアフリー体験」を行い、自由解散となった。

■**記念講演** 「頸損者の排便管理について」をテーマに、神奈川県立保健福祉大学教授の玉垣努氏にお話し頂いた。排便のメカニズムから排便管理まで、人体構造、排便と姿勢の関係、精神状態と自律神経の関係等、分かり易い具体的な内容の講演であった。

頸損者は排便を止めるタイミングに誰しも苦労している。「便失禁を恐れるがために残便確認のための指の挿入が、必要以上に腸の蠕動(ぜんどう)運動を引き起こし、本来降りてこなくても良い水様便を呼んでしまい、便失禁の原因となる」というお話は、誰もが思い当たる場所があるようであった。

理論的には理解できても、便失禁はしたくないという気持ちのこれまでのやり方を急に変えることはできないと思うが、なるべく肛門に負担をかけずに短時間で排便を終えられるように、排便メカニズムを学んでおくことは大事だと思った。

私たちは排泄ばかりでなく、自分の体を理解して健康管理し、日々快適に過ごしたいものである。

■**2013年度総会** 「You are not alone(一人じゃないよ)」を合言葉に活動した年間報告、収支報告を行い、続いて今春から施行された「障がい者総合福祉法」は政府が約束していた「障害者自立支援法廃止と新法の制定」とはなっていないこと。「障害者差別解消法案」が、民間事業者の合理的配慮の不提供の

禁止が努力義務になっている等、各課題について我々の必要とする法制度を求めて引き続き行動していくこと。本部・各支部連携しながら、当会の「あなたは決して独りではない」「我々は決して独りにさせない」セルフヘルプを継続して行っていくことを確認し、予算案、新役員体制を決め閉会した。2014年度の全国総会は兵庫県での開催予定である。

■**交流会** 広い会場一杯の人が旧交、新たな出合いを深め、おいしい食事に、お酒も入り、賑やかに場が盛り上がっていた。余興には突然中東音楽が流れ魅惑的なベリーダンスが始まった。一瞬驚き、特に男性陣には嬉しいサプライズではなかったかと思う。



■**バリアフリー体験** 別頁報告参照

最後に、神奈川頸損の役員、スタッフ、ボランティアの皆様のご尽力には、心よりお礼申し上げます。

また全国総会資料のデジタルデータ希望の方は、下記本部連絡先まで一報頂けば対応いたします。

本部担当：菊地 narimasu@major.ocn.ne.jp